

第95回 メーカー宣言 (案)

私たちは「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」のスローガンを掲げ、第95回メーカーの開催を成功させた。長引く物価高騰による実質賃金の低下が続き、格差と貧困が広がり、労働者、国民の暮らしは厳しさを増している。1月1日に起きた能登半島地震は住民の暮らしと生活基盤に甚大な被害を与え、今なお多くの方々が避難生活を強いられている。世界に目を向ければロシアのウクライナ侵略が続き、パレスチナ・ガザでは無辜の民が日々命を絶たれる状況が続いている。

私たちは労働者の直面する困窮と苦難をすべての働く仲間との連帯の力で打開していく。平和の実現と未来に向けて、世界のたたかう仲間と固く手を握り、連帯強化をすすめる。

すべての働く仲間のみなさん

政府と財界の30年に及ぶ賃金抑制策が暮らしと日本経済を破壊している。私たちはこのメーカーを契機に、物価高騰を上回る大幅賃上げ・底上げで生活改善をはかり、ジェンダー平等の視点から均等待遇と格差是正をめざす。増税と大軍拡、武器輸出をやめさせ、徹底した平和外交をめざす。大企業の優遇税制是正と内部留保課税、中小企業への価格転嫁を図る適正取引規制と消費税減税で個人消費を拡大させ、インボイス制度廃止、年金・医療・介護制度の拡充、紙の保険証廃止撤回とマイナンバー利用拡大の中止、防災予算の拡充、中小企業と営農の支援、食料自給率の向上、地域活性化による日本経済回復をめざす。

国民負担を押し付ける一方で、国民の血税である政党助成金を受け、さらには企業献金で裏金をため込み、大企業、利権団体への政策を推し進める岸田政権の早期退陣へ、市民と野党共闘の深化・発展、政治の転換をはかる運動に全力をつくす。

すべての働く仲間のみなさん

少子化は日本の将来にとって重大問題となっている。子どもを望んでも、雇用の安定や生活できる賃金が見込めない中で、結婚や子育てに係る金銭的、労力的負担が大きく、諦めるしかなくなっている。日本の男女間賃金格差は75.7%、生涯賃金で5800万円もの差がある。「ジェンダー・ギャップ指数」は146か国中125位、先進国の中で最低レベルにある。少子化の抜本的な対策は低賃金の解消であり、取り分け世界的にも低い最低賃金を全国一律制、直ちに時給1500円以上の実現を求める。

ジェンダー平等、特に男女の賃金格差解消は緊急の課題である。すべての労働者の雇用の均等と安定を実現させ、一人ひとりが個人として自立、人権が尊重され、自由と幸福の追求へ、ディーセントワークの確立とあわせて、あらゆる差別の根絶、格差の是正、貧困解消めざして力を合わせよう。

すべての働く仲間のみなさん-

気候変動が激しさを増し、世界各地で洪水や干ばつによる砂漠化、森林火災が相次いでいる。日本政府は「化石燃料の段階的削減」を表明しつつも石炭火力の廃止期限を明確化していない。エネルギー政策の転換、原発再稼働・新增設の阻止、自然災害から地球環境を守るため世界の仲間とともに運動を進める。政府・自治体に防災と減災対策を強化させ、能登半島地震の復旧・復興・被災地支援に全力をあげよう。

岸田政権は大軍拡路線を突き進み、軍事費倍増を狙っている。ミサイル開発と配備、さらには防衛装備移転三原則の見直し、戦闘機の輸出解禁、防衛費を5年間で43兆円へと天井なき軍拡が進められようとしている。敵基地攻撃能力の保有は「専守防衛」を破り、「武力による威嚇」を禁止する憲法9条に反する。私たちは平和と憲法を守る闘いに全力をつくす。核兵器の使用と配備の脅迫が行われるなかで、核兵器廃絶にむけた国際的世論と運動を強めていくことが人類共通の課題であり、政府に対し核兵器禁止条約の早期批准を求めていく。ガザの即時停戦を求め、ロシアのウクライナ侵略戦争に断固反対する。働くものの団結万歳！世界の労働者万歳！メーカー万歳！

2024年5月1日 第95回中央メーカー集会